

頭部打撲で来院された患者様へ

頭部を強く打撲した場合、皮膚に目立った損傷がなくても脳にダメージ、損傷を受けている場合があります。特に打撲後3～12時間以内は想定外に急激に状態が悪化することがあります。以下の症状がある場合はご注意ください。

- 1) ひきつけ（けいれん）を短時間でも起こしてしまった。
- 2) 記憶がはっきりしない。注意力が散漫となる。
- 3) 頭痛がひどくなって吐き気が止まらない、もしくは吐いてしまう。
- 4) 鼻や耳から血液が混ざった水のような液体が垂れてくる。
- 5) 手足に痺れや脱力がある。

（注意1 お子様の場合）

お子様の場合、打撲がストレスとなって1～2日後に吐き気や嘔吐が止まらなくなることがあります。このため打撲後1～2日間は水分摂取を積極的に御考慮下さい。

（注意2 40歳以上の患者様の場合）

打撲直後に問題なくても、一ヶ月程度後にゆっくりと内出血（慢性硬膜下出血）を起こすことがあります。食欲不振や元気がない、歩くのがうまく出来ない、などの症状が出る場合は再受診をして下さい。場合により手術が必要となることがあります。

（注意3 高次脳機能障害やセカンドインパクトについて）

打撲直後に一瞬でも意識が無く記憶が飛んでいる場合、単純な打撲ではなく脳振盪として診断する必要があります。この場合、判断力や記憶力が低下する高次脳機能障害が発生しており、受傷直後に気がつかないことがありますのでご留意下さい。また脳振盪の影響で反射神経が受傷後4週間程度は想定外に鈍っておりその期間に再度頭部打撲をして重篤な脳損傷を受けてしまうセカンドインパクトが知られています。このため運動再開については以下の目安をご理解下さい。

受傷後～2週間後	運動禁止（体育も含みます。）
受傷後2～4週間後	直接接触のない運動に限り再開
受傷後4週間後以降	直接接触する運動についても再開



TEL06-6965-1800

平成28年10月10日改定